

# 名 取 北 高 校 だ よ り



## 名北の風

平成 30 年度第 3 号 (2018/6/19 発行)

### =====「県総体で北高生大活躍」=====

県高等学校総合体育大会において、本校選手が各競技で大活躍しました。特に弓道の団体・個人優勝、バスケットボール部・テニス部団体の第3位、陸上競技・剣道の個人上位入賞等、今年の北高はひときわ輝いています。東北大会・インターハイの出場権を獲得した選手が6月末から8月の初旬にかけて、今度は宮城の名取北高として大活躍してくれることを期待しています。 「大いに輝け!! 北高生!」



男子弓道部

平成 30 年度県高校総体・東北大会結果 (入賞者・上位大会出場権獲得者) 6/18現在

弓 道	男子団体 優勝 (26年ぶり2回目) 東北大会・インターハイ出場権獲得 男子個人 優勝 川上雄飛 (3年・吉田中出身) 東北大会・インターハイ出場権獲得 ※東北大会 (6/23~24・山形市), インターハイ (8/2~5・静岡県袋井市)
バスケットボール女子	第3位 東北大会出場権獲得 ※東北大会 (6/22~24・一関市)
テニス女子	女子団体 第3位
陸上競技	男子5000mW 第4位 大内奎吾 (村田二中出身) 東北大会第3位・インターハイ出場権獲得 ※東北大会 (6/15~16・北上市), インターハイ (8/2~6・三重県伊勢市)
剣 道	女子個人 ベスト8 水戸春奈 (3年・船岡中出身) 東北大会出場権獲得 ※東北大会 (6/23~24・田尻町)

#### 弓道競技 (団体・個人) 優勝

川上雄飛 (3年・吉田中学校出身)

決勝は、接戦で、とても緊張しましたが集中して楽しく弓を引くことができました。

東北大会・インターハイでは今まで積み重ねてきたこと、応援してくれている友達、先生方、両親への感謝の気持ちを忘れずに、集中して今の自分にできる最高の射を目指し一本一本丁寧に弓を引きたいと思います。



#### 陸上東北大会 3位入賞

大内奎吾 (3年・村田二中出身)

県大会では4位という悔しい結果となってしまいましたが、東北大会では、持ち味である積極的なレース運びで、3位に入賞し、インターハイ出場権を獲得しました。

インターハイでは、これまで培ってきた力を発揮し、お世話になった皆様への感謝の気持ちを胸にベストを尽くしていきます。



女子テニス部



女子バスケットボール部

#### 植樹祭に生徒133名がボランティア参加

5月19日 (土), 名取市下増田海岸にクロマツの苗を植える「植樹祭」(主催: 名取市海岸林再生の会, 公益社団法人オイスカ) に参加しました。



私たち名取北高はこれからも、海岸林再生プロジェクト等への参加をとおり、東日本大震災からの復興に積極的に関わって参ります。主催者の皆様、530名の参加者の皆様に大変お世話になりました。ありがとうございました。



スタートでかけ声をかける岡崎凌大さん (3年・村田二中出身)



#### 「海岸林再生プロジェクト 第5回 植樹祭」に参加して



奉仕活動部 部長 武田花音 (3年・山下中学校出身)

「海岸林再生プロジェクト 第5回 植樹祭」に参加しました。本校では今年で3回目の参加となりますが昨年よりもさらに多く、133名の有志生徒が参加しました。これは、私たちの暮らしを守ってくれる海岸林に対する関心が年々高まっていることの現れだと思います。前日までは雨が降り、天候の心配もありましたが、当日は雨も止み、約9000本のクロマツの苗を約2時間でスムーズに植えることができました。私自身、被災者の一人として多くの社会人の方々と一緒に活動することへの喜びと、若者として地域再生への責任を感じながら作業をしました。私たちが植えたクロマツが未来にわたってこの地域を守ってくれることを願い、今後もこの活動に関わっていきたいと思います。



今年度名取市に開校した関上小中学校の八森伸校長先生からメッセージをいただきました。校長先生は、栃木県出身で高校時代は剣道をされており、岩沼中と関上中に在職中は剣道部顧問として名取北高と合同練習のため何度も本校の剣道場に足を運ばれていたそうです。

## 「自分の命を自分で守る心構え」

名取市立関上小中学校長 八森 伸 様



### Q 小中一貫教育校の魅力は

A 九年間を見通した教育活動を進められることが最大の魅力であると思います。児童・生徒にとつては、九年生（中三）が一年生（小一）の面倒を見るなど、優しさがあふれている学校となっていることが魅力だと思います。例えば入学式で九年生（中三）が一年生（小一）の手を引いて入場してくることなどがあります。また、小・中両方の児童・生徒の姿を見ることができ、教員としての幅を広げることができると感じています。

### Q 通学している生徒の環境は

A 名取市全域からの通学が可能な学校であり、実際3分の1の生徒が学区外から通学しています。被災している家庭も多いです。多くの目で寄り添い・見守りが必要な学校であり、先生方も十分に理解して取り組んでいることは間違いありません。

### Q 中学三年生の進路目標は

A まだ進路調査はしていませんが、名取市内の高等学校を希望する生徒が多いですね。特に、一番近くにある名取北高は人気がある学校ですね。

### Q 名取北高生の印象は

A 剣道部の活動とおしてですが、中学生の面倒をよく見てくれて様々な活動に一生懸命に取り組んでいる生徒だと感じています。礼儀正しく、まじめな生徒が多いという印象です。最近、名取北高前のコンビニによく立ち寄りますが、制服の着こなしも立派で、好印象の学校の一つだと感じています。

### Q 大切にしたいことは

A 被災した学校として、児童・生徒の命を守ることでできる学校、防災教育をしっかり行える学校にしたいと思っています。

### 未来を担う若者へのメッセージを

A 被災した学校の教員として、自分の命を自分で守る心構えを持って生きて欲しいと思っています。関上・名取の子供達には震災があったことを忘れないで欲しい。また、伝えていって欲しいと私は願っております。

## ====関上小中学校訪問====

6月18日（月）、名取市教育委員会のご協力の下、本校英語科大槻欣史教諭と大池幸代教諭が今年度開校した関上小中学校を訪問し、授業参観や先生方との懇談を行いました。これは、関上小中学校に最も近い県立高校としてお互いの児童生徒を育てるネットワークづくりをはかりたいという思いから訪問したものです。当日は、児童生徒に混じって給食の試食もさせていただきました。今後は、必要に応じて部活動等での交流などを進めていくことができればと思います。ご対応いただき、ありがとうございました。



授業で使用した教材



先生方との懇談の様子



楽しい給食の時間

## ====第1回学校評議員会を開催しました====

6月13日（水）本校で学校評議員会を開催しました。評議員の皆様からは名取北高生の「登下校のマナーが向上」していることや、本校生の「多様な進路目標が実現」されていることについて、ご感想やご助言をいただきました。お忙しい中、ありがとうございました。



## J R名取駅でマナーアップキャンペーン

生活委員長 菅野遼紀（3年・六郷中出身）



私達が挨拶をしてティッシュを配布すると、忙しい朝にもかかわらず、多くの方々が笑顔を見せてくれました。挨拶の大切さを改めて学ぶ機会となりました。



挨拶には二つの不思議な力があります。一つは人を笑顔にする力です。もう一つは、挨拶することで、人と人が繋がっていくきっかけができることです。少し勇気を出してお互いに挨拶をしましょう。たった一言の挨拶が皆さんの一日を輝かせてくれるはずです。そして挨拶が、北高を笑顔で包んでくれることを私は願っています。